

二重ジャンパ自動試験装置「8」回線接続アプリケーション

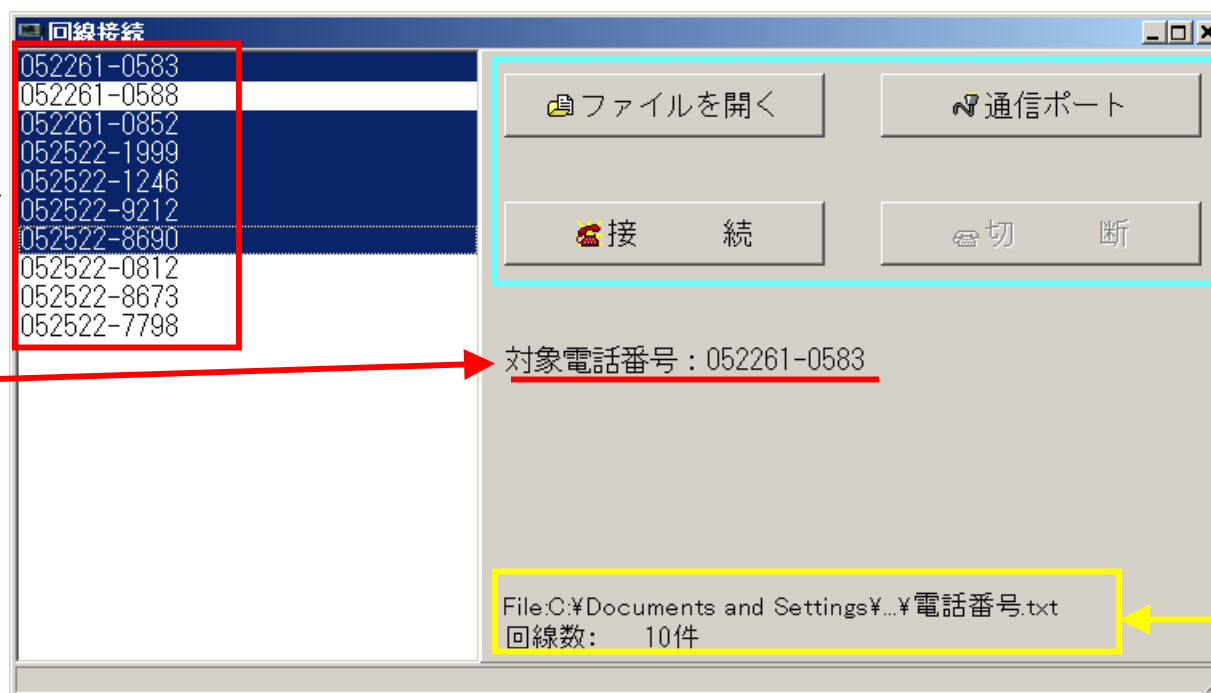
1 / 5

概要

複数の電話番号が書かれたテキストファイルを読み込み、選択した回線に二重ジャンパ自動試験装置「8」（WJP-ATE-8）によって新側試験用端子から接続／切断を行います。

ファイルから読み込んだ電話番号の一覧です。マウスまたは **・** キーで接続したい電話番号を選択します。Ctrl+Aで全て選択します。(反転表示が選択で複数の回線を選択できます。)

選択した電話番号を表示



各ボタンで
・ファイルの読み込み
・通信ポートの設定
・回線の接続／切断
を行います。

読み込んだファイル名と回線数です。



東京通信機工業株式会社

TOKYO COMMUNICATION EQUIPMENT MFG.CO.,LTD.

取扱い説明

起動



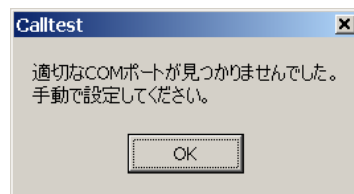
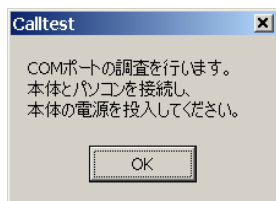
パソコンとWJP-ATE-8をRS-232Cケーブルで接続し、電源を入れてください。
アイコンをダブルクリックするか、(電話番号が書かれた)ファイルを
ドラッグ&ドロップすると起動します。



通信ポート設定 (初回アプリケーション起動時 または 通信ポート)

パソコンとWJP-ATE-8を接続する通信ポート(COMポート)を設定します。
パソコンにCOMポートが複数存在する場合、どのポートを使っているか設定します。

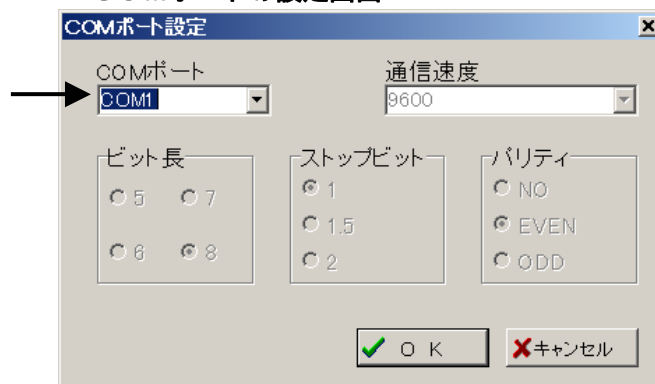
WJP-ATE-8が接続され電源ONの状態なら自動認識します。
そうでない場合は認識されないので手動で設定してください。



手動でCOMポートの設定を行う場合

COMポートの設定画面

どのポートを使用するか
コンボボックスで選択します。
使用可能なCOMポートが
一覧表示されます。



二回目以降のアプリケーション起動時は、前回設定したCOMポートが設定されます。

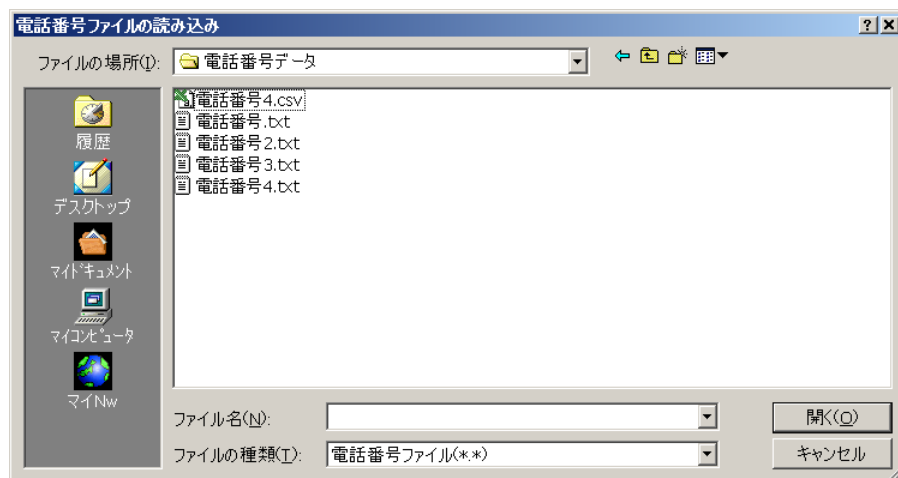


東京通信機工業株式会社

TOKYO COMMUNICATION EQUIPMENT MFG.CO.,LTD.

ファイルを開く(アプリケーション起動時 または ファイルを開く)

電話番号が書かれたテキストファイルを読み込みます。(拡張子はどれでも構いません)



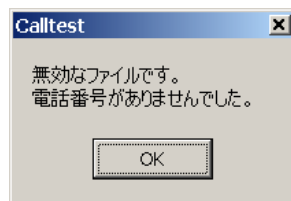
メイン画面上にファイルをドラッグ&ドロップしてもOKです。

9D(先頭の‘0’が無い9桁の番号)でも、発信の際自動的に10桁で発信します。

ファイル形式は電話番号(ハイフン含む)が書かれたテキストファイルです。

1列目が電話番号であれば“c s v”形式でも構いません。

無効なデータが含まれる行は読み込まれません。全て無効データの場合、下記のダイアログを表示します。



東京通信機工業株式会社

TOKYO COMMUNICATION EQUIPMENT MFG.CO.,LTD.

二重ジャンパ自動試験装置「8」回線接続アプリケーション

5 / 5

接続 / 切断 ( / )

選択した回線にWJP-ATE-8によって新側試験用端子から接続 / 切断を行います。

接続した回線は後で必ず切断してください。

別な電話番号に選択を替えた場合、自動的に切断となります。

複数の電話番号を選択した場合、切断すると次の電話番号が対象となります。

試験用端子に不具合があった場合、下記ダイアログを表示します。

サービスオーダー、モジュラーケーブルの接続等を確認してください。



東京通信機工業株式会社

TOKYO COMMUNICATION EQUIPMENT MFG.CO.,LTD.